

事業番号	02 09 05	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	交通事故相談所運営事業			担当課	部局	県民文化部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	くらし安全・消費生活課		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 2 交通安全対策の推進		E-mail	kurashi-shohi@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	S45 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	交通事故被害者等が抱える補償問題、生活問題等の解消を目指す。 成果目標：相談所開設日244日、巡回相談回数66回、事故相談件数1,500件		
現状（予算編成時）	○交通事故被害者等が抱える様々な問題の解決に向けて、適切なアドバイスをすることにより支援をしている。 ○唯一の公的相談所としての価値及び活用について多くの県民に周知するため市町村広報紙等により広報をしているが、更なる工夫が必要。 ○複雑多様化する事故内容に対し迅速・的確な対応ができるよう相談員の資質向上に引き続き努めることが必要。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 交通安全対策基本法、犯罪被害者等基本法	
成果目標・事業内容	① 成果目標（H26） 相談所開設日244日、巡回相談回数66回、事故相談件数1,500件、利用者満足度99%以上		
	② 事業内容（単位：千円）		
	項目	実施方法	H26事業実績
			H26 (当初) H26 (決算) H27 (当初)
1. 交通事故相談員報酬等相談所運営	直接	・常設相談所の相談員6名の報酬（長野、松本、上田、飯田） ・飯田支所の相談員交代に伴う指導相談員1名の配置（6か月間） ・電話代等相談所の物件費 ・巡回相談及び新任相談員の研修	14,968 14,820 14,018
2. 交通事故相談所の周知	直接	・宣伝用チラシの印刷	150 99 40
		合計	15,118 14,919 14,058

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	14,173	15,209	15,118	14,058
	補正予算			-40	
	合計(A)	14,173	15,209	15,078	14,058
	Aの財源				
	一般財源	14,104	15,135	15,004	14,011
	県債				
	国庫支出金				
	その他	69	74	74	47
決算額(B)	13,659	15,135	14,919		
概算人件費					
職員数(人)	2.30	2.30	1.60	1.60	
概算人件費(C)	18,993	18,993	13,213	13,213	
概算事業費(B(A)+C)	32,652	34,128	28,132	27,271	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
相談所開設日	244日	244日	244日	達成	243日
巡回相談回数	65回	66回	66回	達成	66回
事故相談件数	1,259件	1,500件	1,216件	未達成	1,400件
利用者満足度	-	99%以上	100%	達成	99%以上

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故被害者等が補償問題から生活問題まで幅広く相談できる唯一の相談窓口として、職員の資質向上を図りながら対応した。</li> <li>・平成26年中の交通事故発生件数が2年連続1万件を下回るなど、人身事故件数の減少傾向もあり相談件数は減少したが、全ての利用者から相談して「役に立った」との評価を得ている。</li> </ul>
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑多様化する交通事故に起因する補償問題から生活問題まで、相談者に対して迅速・的確なアドバイスができ、県民から信頼され、安心して利用していただけるよう相談員の資質向上など体制を充実させていく。</li> <li>・相談件数の1/3を占める物損事故件数は微増しており、潜在需要はあるので、困った際に有効に利用していただけるよう、市町村や事故現場で当事者と向きあう県警とも連携しながら周知に努めていきたい。</li> </ul>